



ピボットヒンジクローザ

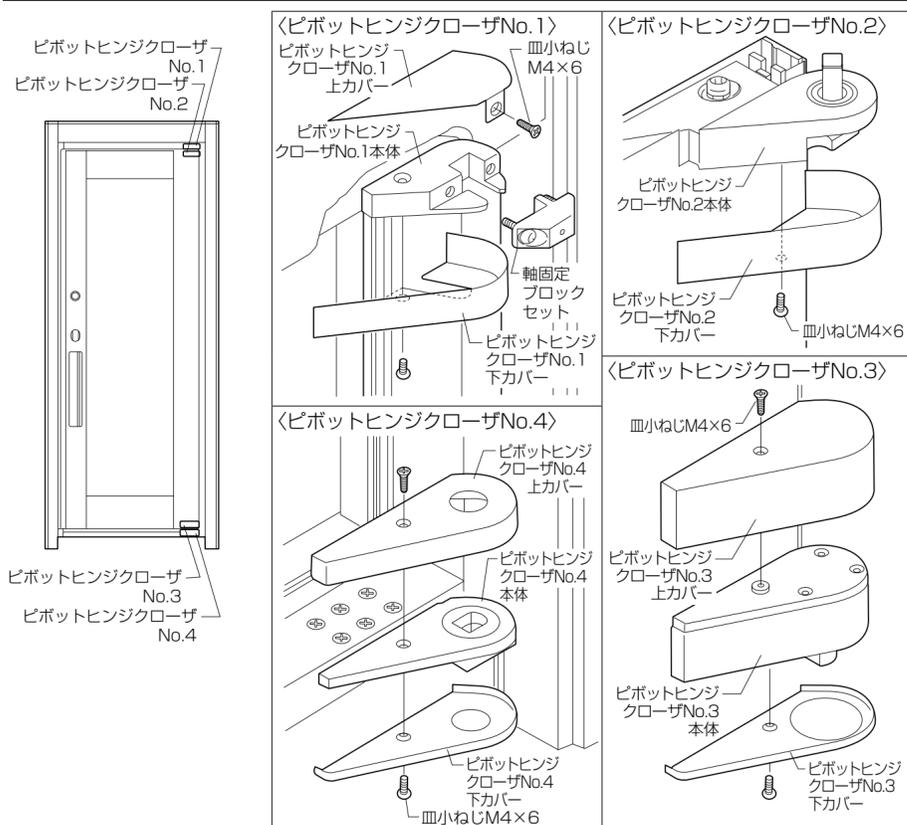
■お願い

- この説明書は、取付け完了後、施工される方にお渡しください。
- 取付けねじは、必ず指定のものを使用し、完全に取付けてください。
- 枠キャップは一部省略しています。

■梱包一覧表

番号	部品名称	員数	備考
1	ピボットヒンジクローザNo.1本体	1	枠取付け済み
2	軸固定ブロック	1	
3	ピボットヒンジクローザNo.1上カバー	1	
4	ピボットヒンジクローザNo.1下カバー	1	
5	皿小ねじM4×6	2	
6	ピボットヒンジクローザNo.2本体	1	本体取付け済み
7	ピボットヒンジクローザNo.2下カバー	2	
8	皿小ねじM4×6	1	
9	ピボットヒンジクローザNo.3本体	4	本体取付け済み
10	ピボットヒンジクローザNo.3上カバー	1	
11	ピボットヒンジクローザNo.3下カバー	1	
12	皿小ねじM4×6	2	
13	ピボットヒンジクローザNo.4本体	1	枠取付け済み
14	ピボットヒンジクローザNo.4上カバー	1	
15	ピボットヒンジクローザNo.4下カバー	1	枠に同梱
16	皿小ねじM4×6	2	
-	六角棒スパナ(呼び4)	1	
-	六角棒スパナ(呼び2)	1	

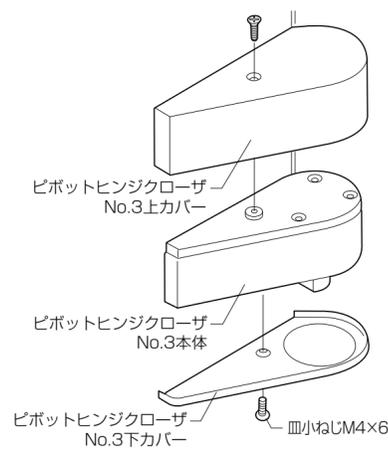
■部品名称



■取付け順序

1 部品の取付け

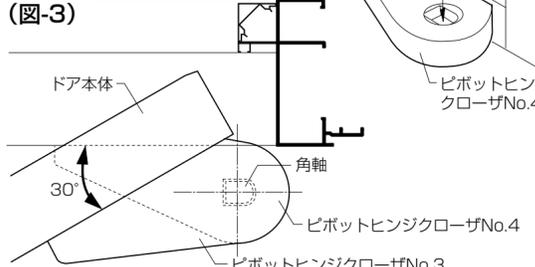
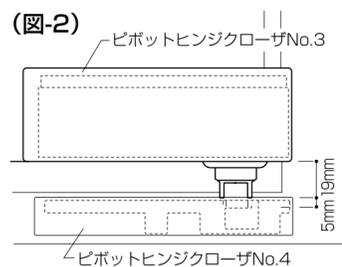
- ① ドア下部のピボットヒンジクローザNo.3本体に上・下カバーを取り付けます。



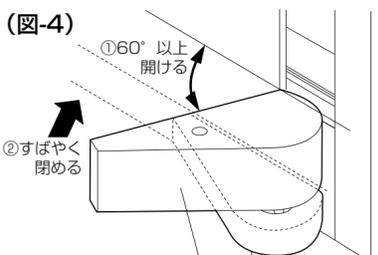
■取付け順序

2 本体のつり込み

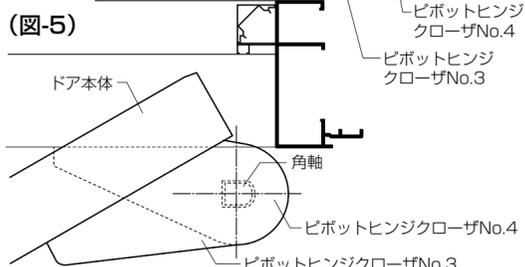
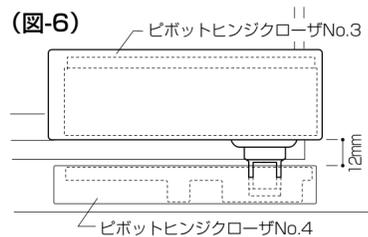
- ① ドアを約30°開け、(図-1)ピボットヒンジクローザNo.3角軸をピボットヒンジクローザNo.4角穴に入れます。(図-2)ピボットヒンジクローザNo.3角軸は、先端にある斜め切欠き部(5mm)まで入ります。(図-3)ピボットヒンジクローザNo.3下部からピボットヒンジクローザNo.4上部までの距離が19mmとなります。(図-3)



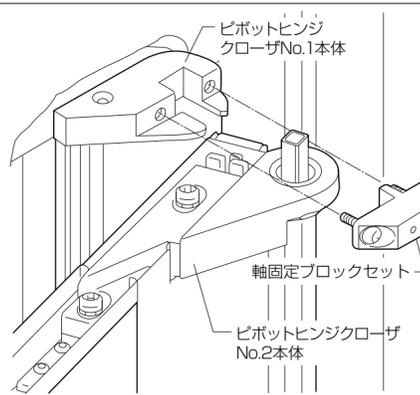
- ② 30°に開けたドアをさらに30°以上(計60°以上)に開けます。(図-4)この状態でドアを素早く閉じると、角軸は角穴の奥まで自動的に入ります。
※角軸回転速度より早く動かすと(約30°)ドアの自重で自動的に角軸が角穴に落とし込まれます。(図-5)



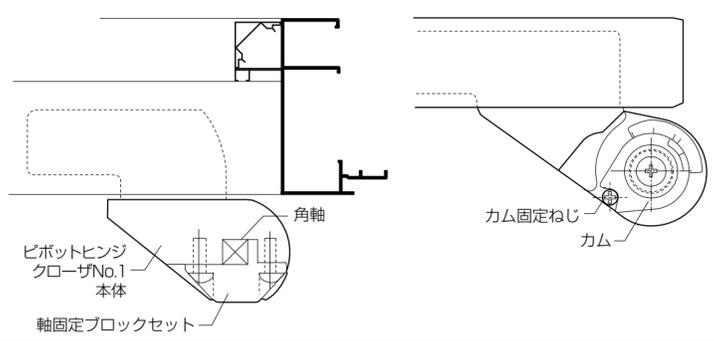
- ③ ピボットヒンジクローザが正しく取り付けられているか確認します。(図-6)ピボットヒンジクローザNo.3下部からピボットヒンジクローザNo.4上部までの距離が12mmとなります。角軸が入らない場合は、同様の作業を繰り返してください。



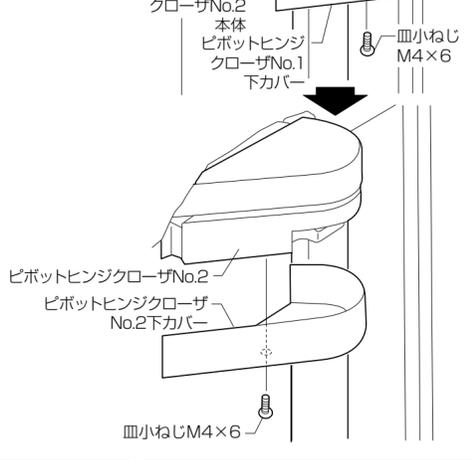
- ④ ドアを約30°開けた状態でピボットヒンジクローザNo.2角軸をピボットヒンジクローザNo.1角溝に差し込み、軸固定ブロックを取り付けます。



- ⑤ そのままの状態(ドアを約30°開けたまま)で、ピボットヒンジクローザNo.2本体の下部に付いているカム固定ねじを外します。(ドアを閉じてネジを折ってしまってもかまいません。)



- ⑥ ピボットヒンジクローザNo.1・No.2本体に、ピボットヒンジクローザNo.1上下カバー・No.2下カバーを取り付けます。ピボットヒンジクローザNo.1下カバーは、ドアを開けた状態で取り付けます。

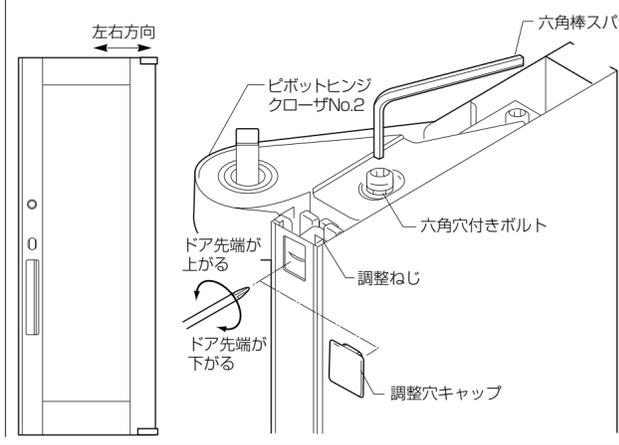


■建付け調整

建付け調整は、補助的な調整です。(枠の取付け時に下げ振りで前後・左右の狂いや柱同士のネジなど正しく調整してください。)

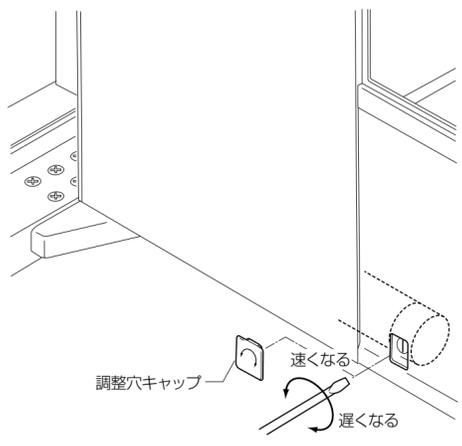
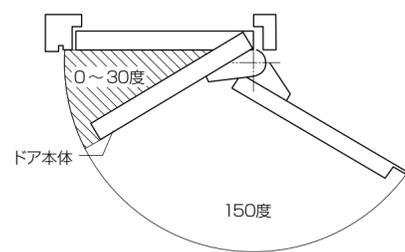
●左右方向の調整

1. ドアを開き、付属の六角棒スパナ(呼び4)で六角穴付きボルトをゆるめます。
2. 調整穴キャップを外します。(+)ドライバーで調整ねじを回し、位置を調整します。
3. 調整後、六角穴付きボルトを強く締め、調整穴キャップをはめ込みます。



■スピード調整

1. 調整穴キャップを外します。(+)ドライバーで調整ねじを回し、位置を調整します。調整穴キャップに説明ラベルが張ってあります。
 2. 調整後、調整穴キャップをはめ込みます。
- ※ドアの閉じ始め(150°~30°)のスピードは、製品出荷時に調整してありますので調整の必要はありません。閉じ終わり(30°~0°)のスピードは、上記のように調整願います。



■ストップ角度の調整

1. ドアをつり込んだ状態で、ピボットヒンジクローザNo.2下カバーを外します。
 2. カムの横にあるセットねじを付属の六角棒スパナ(呼び2)でゆるめます。
 3. カム押さえねじを外します。
 4. カムを外し、カムについての刻印とラベルの角度を保持したい角度に合わせてはめ込みます。(①カムが外しにくい時は、(-)ドライバーでこじってください。②ストップ角度の範囲は、80°~150°の10°刻みです。)
 5. 調整後、カム押さえねじ・セットねじを締め、カバーを取り付けます。
- ※製品出荷時は、90°ストップになっています。

